

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	体圧測定を普及させて褥瘡予防に繋げたい ～がん患者にさらなる苦痛を与えないために～
研究責任者	B8 病棟 幸田 幸世
研究実施体制	聖隷浜松病院
研究期間	臨床研究審査会の承認を得た日から 2022 年 11 月 9 日
対象者	調査期間に聖隷浜松病院 B8 病棟入院患者の褥瘡評価において褥瘡発生リスクがある患者
研究の意義・目的	体圧測定を定着させ、測定値より褥瘡発生予防への意識が高まり、褥瘡発生件数の減少と D3 以上の褥瘡発生を 3 件/年から 0 件/年にする。また、体圧測定値を用いた褥瘡予防カンファレンスを行い、患者の個別性に合わせた褥瘡対策を検討し、患者にさらなる苦痛を与えない介入に繋げる。
研究の方法	1) 体圧測定率の調査を行った：体圧測定率の現状把握と体圧測定器（以下パーム Q [®] ）の使用方法和測定の必要性の学習会開催と、その後毎週測定率の追跡調査を実施。 2) 褥瘡発生件数の調査：毎月の褥瘡発生件数を調査した。 3) 褥瘡発生した際の DESIGN-R [®] を調査：毎月褥瘡発生した際に DESIGN-R [®] 別に分類した 4) 体圧測定で得られた値が褥瘡予防に活用できているか調査した。 聖隷浜松病院 B8 病棟看護師 29 名にアンケートを褥瘡カンファレンス開催前と開催 3 ヶ月後に依頼した。 設問内容は 1-①パーム Q [®] を測定する理由がわかりますか。1-②わかると回答された方は測定する理由をご記入ください。2-①パーム Q [®] の値は活用できていますか。2-②活用できている人はどのように活用できているか教えてください。 5) 褥瘡予防カンファレンスを実施した患者に看護診断の立案がされたか調査した。 6) 褥瘡発生リスクのある患者で栄養サポートチーム介入に繋がった件数を調査した。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 B8 病棟 幸田 幸世 B8 病棟課長 青木知香子 TEL：053-474-2222（代表） B8 病棟 9：00～17：00 平日